


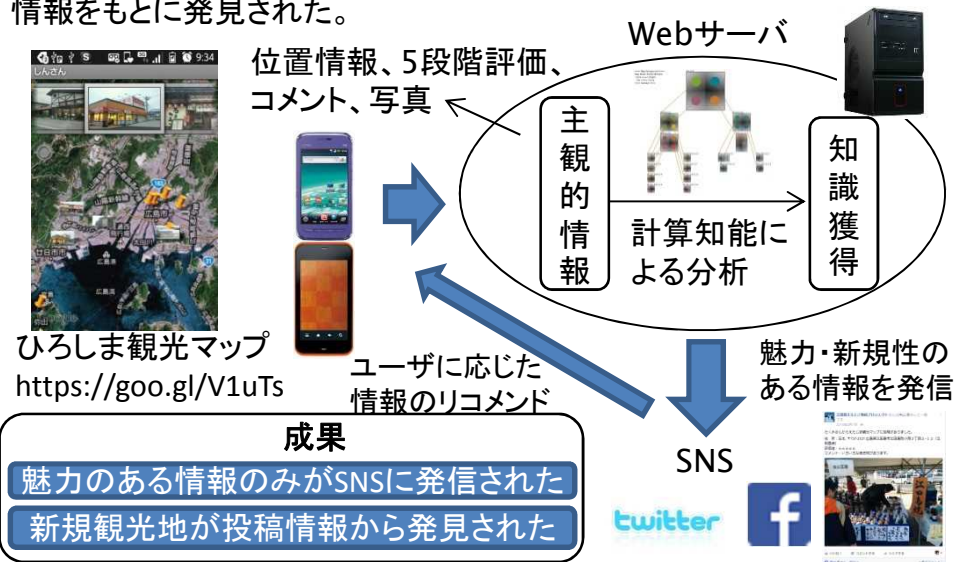
スマートフォンを使った観光資源の発見から地域活性化へ

県立広島大学提供
作成日 2016年2月26日
更新日

	研究者氏名 いちむら たくみ 市村 匠	所属機関 県立広島大学経営情報学部 経営情報学科	関連キーワード(複数可) Webインテリジェンス, 計算知能, スマートフォン, リコメ ド機能
	主な研究テーマ ・Deep Learning, 計算知能技術, 感情指向型インター フェイスに関する研究	主な採択課題 ・基盤研究(C)平成25~27年度(配分総額:4,290千円) 課題名「スマートフォンによるユーザ参加型主観的情報シ ステムのリコメンド機能の開発」	

① 科研費による研究成果

- ・Androidアプリ「ひろしま観光マップ」を開発し、旅行者の主観的情報を収集し、魅力や新規性のある観光地に関する知識抽出を行った。
- ・抽出した知識を用いて、観光にとって有用な情報のみをSNSに情報発信するフィルタリングルールを構築した。
- ・江田島市での実証実験(江田島いいねコンテスト)において、地域の魅力ある情報がSNSを通じて発信され、新しい観光地がユーザの投稿情報をもとに発見された。



② 当初予想していなかった意外な展開

- ・広島県江田島市と県立広島大学の事業(地域戦略協働プロジェクト)に採用され、江田島市の観光イベント(<https://goo.gl/MU99TQ>)が実施された。
- ・江田島市地方創生総合戦略において、研究代表者が検討委員会座長を務め、観光を含む地方活性化の検討を行った。そこで、地域オープンデータの推進が検討され、観光による観光活性化が検討された。その結果、江田島市アイデアソン(<https://goo.gl/HVOxch>)が平成28年3月に開催された。



観光イベントでSNSに投稿された情報

③ 今後期待される波及効果、社会への還元など

- ・構築したシステムは現在も運用しており、広島県における観光の地域オープンデータとしての利活用が期待できる。
- ・本研究で得られたリコメンド手法は、SNSにおけるコミュニティ活性化に利用できる。